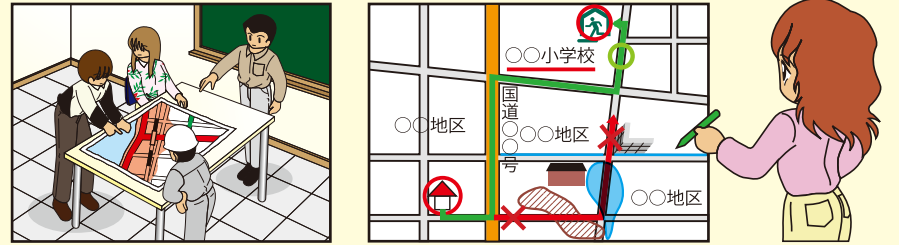


このマップの使い方

ため池ハザードマップは、地震や大雨等により、ため池が決壊した場合に備えて、安全な避難行動に役立つ情報を示したものです。ため池からの氾濫範囲、浸水深や、避難場所の位置など、避難時に必要な情報を掲載しました。日頃から避難場所の位置を把握しておくとともに、安全な避難経路を確認し、すぐに逃げられるようにしてください。ため池が満水時に決壊した場合を想定した氾濫範囲、浸水深を着色して掲載していますが、着色した範囲以外でも、浸水がおきることや、浸水深が深くなることもあります。十分に注意してください。

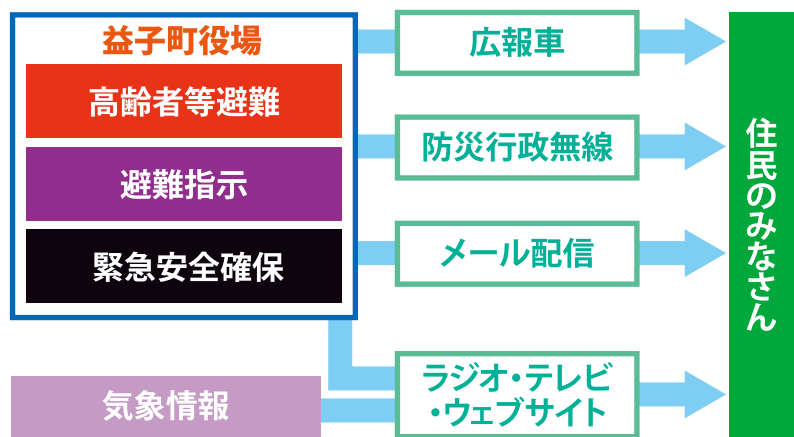
- ① 自宅等の周辺の危険性をハザードマップで確認しましょう。
- ② 家族や近所で話し合い、避難場所や避難経路を決めておきましょう。
- ③ 家族の連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- ④ いざという時に安全な避難行動が出来るように、日頃から準備しておきましょう。
- ⑤ 避難情報や気象情報等の防災情報の入手先を確認しておきましょう。



避難情報や気象情報の入手先を知りましょう

ため池が決壊する可能性が高まった時は、益子町から防災メールや防災行政無線等により情報を発表します。大雨時や地震直後等は、的確な情報を入手するように心がけましょう。ため池に異常を発見した場合は、すぐに益子町役場へご連絡ください。

避難情報の伝達経路



避難情報が発表された場合は、すぐに行動に移してください。避難情報は以下の3種類があります。

高齢者等避難	避難指示	警戒レベル4までに必ず避難！	緊急安全確保
● 人的被害をもたらす災害発生の可能性があります。	● 人的被害をもたらす災害発生の可能性が高まっています。		● 既に災害が発生しています、又は災害が切迫した状況です。
とるべき行動	とるべき行動		とるべき行動
○ 危険区域内のお年寄りや身体の不自由な方、避難に時間を要する方は、危険な場所から安全な避難先へ避難しましょう。 ○ その他の方も、危険を感じたら自主的に避難を開始しましょう。	○ 危険区域内の住民は全員、危険な場所から安全な避難先へ避難しましょう。		○ 命の危険があります。少しでも危険が少ない場所へ身を移し、ただちに安全を確保しましょう。
避難情報が出ていなくとも、身の危険を感じたら、早めに安全な場所に避難しましょう。			
警戒レベル	3	4	5

【インターネットからの情報入手先】

益子町役場: <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/>

栃木県防災ポータルサイト: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/index.html>

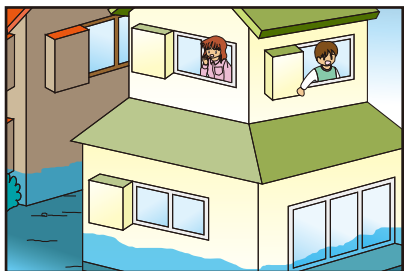
気象庁: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

益子町防災メール: ※登録が必要です。
t-mashiko@sg-m.jpに空メールを送信
指示に従い、登録してください。

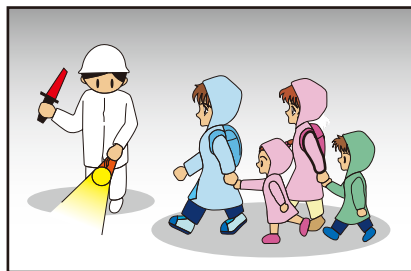


避難する時はこんなことに気をつけよう

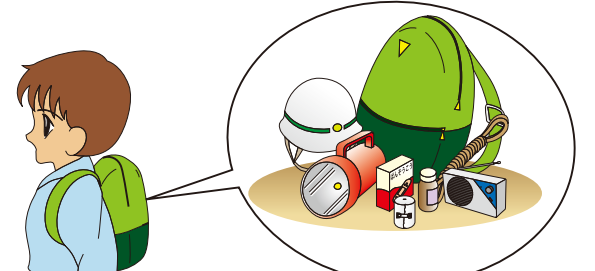
日頃から、すぐに避難できるように準備をしておきましょう。避難する場合は、原則徒歩で危険な箇所を出来る限り避けて避難しましょう。



すでに浸水が始まっている場合や、ため池がすぐに決壊しそうな場合は、無理に避難せずに、自宅の2階や近所の高いところに避難しましょう。ため池からの浸水は流速が速く歩行が困難な場所もあります。また、車での避難は危険です。徒歩で避難しましょう。



単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合って、家族やグループで決められた場所に避難しましょう。



非常持ち出し品は、両手が自由に使えるようリュックサックにまとめ、持ちやすいように用意しておきましょう。

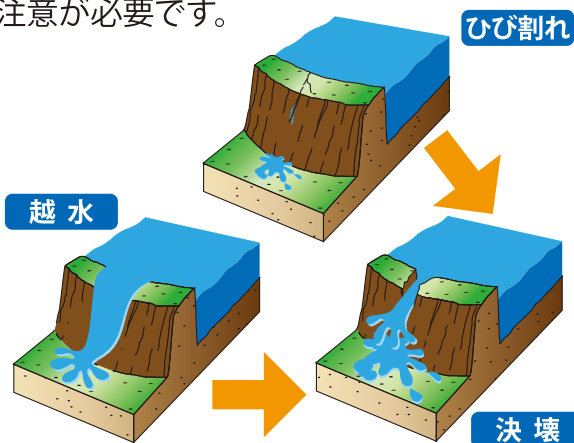
ため池はこんな状況の時に危ない

●地震時

ため池の堤防が、地震による大きな力を受けて亀裂が生じることで決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊することがありますので注意が必要です。

●大雨時

ため池の水位が上昇し、堤防をのり越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。流木やゴミ等によって余水吐(洪水吐)の断面がふさがると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



ため池の役割

ため池は、雨が少ない地域等で農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。農業用水以外にも、大雨時の洪水調整機能や、火災時の防火用水として利用できます。

- 農業用水としての役割 …… 稲作のため、人工的に水を溜めるための施設です。
- 防災としての役割 …… 大雨時の洪水調整機能や、火災時の防火用水として利用できます。
- 水辺空間としての役割 …… 都市化が進む中、緑や水辺空間を提供しています。
- 非常用水としての役割 …… 災害など非常時に生活用水として利用が可能です。